

茨城県立水戸飯富特別支援学校の運動部活動に係る活動方針

1 運動部活動の基本的な考え

- 運動部活動は、学校教育の一環として実施する教育的活動であり、生徒にとって豊かな学校生活を経験する有意義な活動であるとともに、体力の向上や健康の増進にも効果的な活動であることから、学校の教育目標に基づき、計画的に実施をする。
- 各種の陸上競技や球技などに親しみ、心身の調和のとれた発達や、自主的・積極的に運動する態度の伸長を図る。
- 生徒一人一人の実態に配慮しながら、指導体制を整え、生徒の興味・関心を高め、技術の向上を目指すとともに、中学部・高等部が合同で行うことで交流を図り、協力する気持ちや態度など好ましい人間関係を育てる。
- 運動部活動をとおして自ら運動を楽しむ態度を育て、社会性の向上や卒業後の余暇活動及び生涯スポーツの取り組みにつなげていく。

2 運動部活動の活動日及び活動時間

【中学部】

- 毎週金曜日、45 分間程度とする。(15 : 00～15 : 45)

【高等部】

- 毎週月曜日と金曜日 45 分間程度とする。(15 : 00～15 : 45)
※それ以外の日は休養日とする。
- 休日は原則実施しない。
- 長期休業日等は、1 時間半程度とする。長期休業中部活動実施計画のもと、週当たり 3 日以上の休養日を設ける。
- 長期休業中は、長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。

3 運動部活動の朝の活動

- 朝の活動は原則実施しない。

4 学校単位で参加する大会等の見直し

- 現行の大会を基本とし、学校行事との調整を図り、参加する大会等を精査する。

5 熱中症の対応について

- 気象庁の高温注意情報が発せられた当該地域・時間帯における屋外の運動を原則として行わない等、適切に配慮する。
- 実施が可能と判断し活動する際にも、生徒の健康管理を第一に考え、参加生徒の健康観察を実施し、長時間のランニングや激しい運動は避け、こまめな水分・塩分の補給や休憩の取得等、生徒の健康管理を徹底する。
- 熱中症指数（WBGT）を校内で測定し、指数により運動部の内容を変更する。

6 大会参加実績

- ・ 茨城県障害者スポーツ大会
- ・ ふれあい蛍駅伝

茨城県立水戸飯富特別支援学校の文化部活動に係る活動方針

1 文化部活動の基本的な考え

- 文化部活動は、学校教育の一環として実施する教育的活動であり、生徒にとって豊かな学校生活を経験する有意義な活動であるとともに、生涯にわたって芸術文化等の活動に親しみ、多様な表現や鑑賞の活動をとおして、心の創造性の涵養を図るために、極めて効果的な活動であることから、学校の教育目標に基づき、計画的に実施をする。
- 芸術文化等の活動に親しみ、心身の調和のとれた発達や、自主的・積極的に運動する態度の伸長を図る。
- 生徒の一人一人の実態に配慮しながら、指導体制を整え、生徒が生涯にわたって芸術文化・ICT機器等に親しむ基礎を培うことを、高等部生徒同士で交流を図り、協力する気持ちや他人を思いやる心と態度を育てていく。
- 文化部活動をとおして経験し学んだことを、社会性の向上や卒業後の余暇活動及び芸術文化等の活動を親しむ取り組みにつなげていく。

2 文化部活動の活動日及び活動時間

【中学部】

- 実施しない。

【高等部】

- 毎月1回、第2水曜日、45分間程度とする。(15:00～15:45)
※それ以外の日は休養日とする。
- 休日は原則実施しない。
- 長期休業日等は、1時間半程度とする。長期休業中部活動実施計画のもと、週当たり3日以上
の休養日を設ける。
- 長期休業中は、長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。

3 文化部活動の朝の活動

- 朝の活動は原則実施しない。

4 学校単位で参加する大会等の見直し

- 現行の大会を基本とし、学校行事との調整を図り、参加する大会等を精査する。

5 熱中症の対応について

- 生徒の健康管理を第一に考え、参加生徒の健康観察を実施し、屋内での活動の際でもエアコン等を適宜使用し、こまめな水分・塩分の補給や休憩の取得等、生徒の健康管理を徹底する。

6 大会参加実績

- ・ 茨城県高等学校文化連盟特別支援学校部門大会出展